



お元気ですか
志村 たかよし です

第520号 2010年11月28日

日本共産党中央区議団

中央区築地 1-1-1
電話 3546-5563
FAX 3546-9570

「先行きが見えない」という悲観的な声が多数

「中央区内景気動向調査」10月の結果について



場外市場。売り手の声は活気あるのですが…

政府の無策で、景気は悪くなるばかり…というのが、多くの方の実感ではないでしょうか。

中央区は、2ヶ月に一回、「中央区内景気動向調査」を行ってまいりますので、ご報告します。

調査は、国の景気動向指数（*DI）にならって区独自に実施しているものです。

調査方法は、経済活動の現場で働く方を景気ウオッチャー（調査協力員）として委嘱し、それぞれの仕事を通じた景気判断を報告し

てもらい、この報告を基に区内の景気動向を把握するものです。

このほど、10月の調査結果が出ましたが、結果は、現状判断のDIは小幅上昇し、先行き判断のDIは小幅低下しました。

★現状判断のDIは、前回調査から1・2ポイント上昇し、44・3となりました。

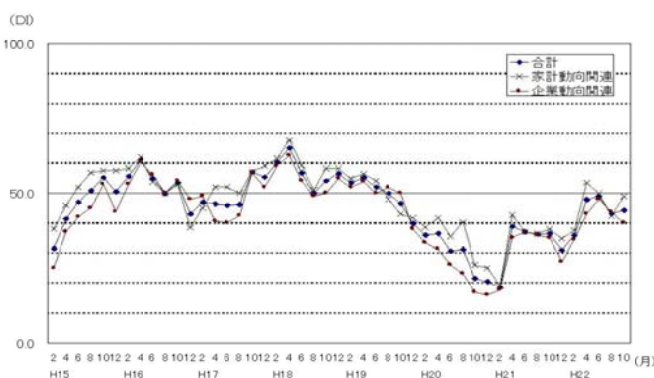
★先行き判断のDIは、44・3と前回調査から0・9ポイント低下しました。

区は「販売量や受注量の増加などで逆の意見もあり、気候的な要因等で業種によりばらつきが見られた、また、円高を懸念する意見も多くみられるなど、相変わらず先行きが見えないとの悲観的な意見も多く、景気に対する不透明感は払拭されていない。引き続き今後の景気の動向を注視していく必要がある」と分析しています。

※DIとは

景気の動きを知るための代表的な経済指標で、増加（または「上昇」「楽」など）したと答えた企業割合から、減少（または「下降」「苦しい」など）したと答えた企業割合を差引いた数値のこと。不変部分を除いて増加したとする企業と減少したとする企業のどちらの力が強いかを比べて時系列的に傾向をみようとするものです。

景気の現状判断DIの推移



見づらいますが、7年前からのDI推移グラフです

都政の聖域「臨海」を検証する「臨海部見学バスツアー」に参加



環状2号線を通すために建設中の「豊洲大橋」。豊洲の ゆりかもめ「市場前駅」から写しました。

東京湾臨海部の開発は、なかなか都民の目が届かないところです。

その都政の聖域「臨海」を検証する第7回

「臨海部見学バスツアー」が11月20日に行われ参加しました。

東京駅出発のコースは、築地市場付近く勝どき環2「地上化」予定地く晴海く豊洲新市場予定地く若洲公園（臨海道路橋梁工事）く有明防災センターく青海地下駐車場く中央防



江東区若洲と大田区城南島を結ぶ臨海道路に架かる臨海大橋は、全長2933m、海上部だけでも1618mで、高さは87.8mの巨大な橋です。工事費は630億円！

波堤埋立地く城南島海浜公園く汐留という有意義なものでした。

住民のいない臨海部で行われている大規模工事を見て、参加者から、驚きと「鉄とセメントのための税金の無駄遣い」に対する怒りの声が出ていました。



地盤の悪い東京港の埋立地は、少しずつ沈下しています。それが一目で分かる大田区城南島海浜公園内の大井信号所の建物に行きました。1980年から30年間で約1m50cmも沈下しました。中央の階段の上が当初の地面でした。



江東区若洲公園から臨海部を眺望しました。目の前では、釣りを楽しむ人たちがいました。釣り上げられた30cmのすずきにみなビックリ！公園の目の前で臨海大橋の橋梁工事が行われていましたが、その巨大さにまたビックリ！

「意見」要望がありましたら、お気軽に「連絡ください」(03)5561-6309 FAX可

活動紹介のブログを毎日更新しています。

志村たかよしワールド

検索